



夏のリコチャレ 2023 の開催

RIKO CHALLENGE SUMMER of 2023

1. リコチャレとは

理工チャレンジ、略して「リコチャレ」とは、女子中高生・女子学生の皆さんが、将来の自分をしっかりイメージして理工系分野に進路選択（チャレンジ）することを応援する取り組みです。内閣府男女共同参画局が中心となっており、さまざまな大学や企業などが「リコチャレ応援団体」として参加しています。

「夏のリコチャレ～理工系のお仕事を体感しよう～」は夏休み期間に、主に女子小・中高生を対象として実施する企業・大学・学術団体等のイベントで、2022年は92団体162のイベントに約5,000名が参加しました。

SWCCグループのダイバーシティ推進PJ（SWCCarat）も同取り組みに賛同し、同年にイベントを開催しています。

2. 夏のリコチャレ 2023

富士電線(株)は2023年7月28日に本社・伊勢原工場イベントを開催しました。地域の小中学生7名（中学生5名、小学生2名）と保護者3名が参加し、会社概要や製品紹介に続き、伸線や絶縁、より合わせといった消防用ケーブルの製造工程、民間企業では唯一となる検定炉での燃焼試験の様子を見学し、光ファイバの融着やLANケーブルの端末加工の体験も行いました。



図1 夏のリコチャレ 2023 参加者

製造工程の見学では自分より大きいドラムが回転する様子や、粒状の樹脂材料が押出機によって溶融されケーブルに被覆されていく様子を観察し、積極的に質問を行って

ました。燃焼試験の見学では説明に熱心に耳を傾けながら、試験後のケーブルや、実際にケーブルが試験炉内で燃やされている様子も興味深く観察していました。

参加者からは「学校で教えてもらえないことを知れて良かった」「理系について少し興味を持てた」「LANケーブルを作るのが楽しかった」などの声が上がりました。



図2 試験後のケーブルを確認する子どもたち

SWCCグループでは、富士電線(株)の他にSWCC(株)の相模原事業所と三重事業所で夏のリコチャレ 2023のイベントを開催しています。

相模原事業所では、仮想現実映像に実写映像を重ねる独自技術・AVR®システムの体験や、地震から建物や人命を守る免震部材の製造現場などを見学した後、エンジニアとの交流会を行いました。

三重事業所では、高機能無酸素銅『MiDIP®（ミディップ）』を製造する国内唯一のディップ・フォーミング・システムなどを見学し、同事業所で製造する製品を使用した体験学習や、従業員との座談会を行いました。

ダイバーシティ推進PJは、今後もリコチャレを通して次代を担う理工系人材の育成を応援していきます。

AVRは株式会社ACW-DEEPの登録商標です。
MiDIPはSWCC株式会社の登録商標です。

問合せ先：〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町1-14
(JMFビル川崎01)

SWCC(株) ダイバーシティ推進PJ(SWCCarat)
電話(044)223-0526 FAX(044)223-0550